CRL和英翻訳パートナー　トライアル受験要領

統計学 <https://www.crl.cloud/partners/doc/trial_statistics.docx>

作業仕様

1. トライアル回答は別ファイルに保存して提出してください。
2. トライアル回答には英語のみ記載してください（和英対訳形式ではありません）。
3. 使用フォントはTimes New Roman、サイズは12 pointでお願いします。
4. 訳出根拠の提示はコメントにて（本文への追記は厳禁）ソース情報を提示してください。

 ※トライアル回答・コメントに記載するテキストは、全て英語のみとします。

課題文（統計学）

仮説検定

帰無仮説（H0）と対立仮説（H1）

統計的仮説

統計学で扱う仮説とは，母集団に対する断定や推測．たとえば，

1. 母集団は正規分布に従っている．
2. 母集団平均は0である．
3. 母集団Aと母集団Bの平均は等しい．

などである．

統計的仮説検定で用いられる仮説は，まず，帰無仮説という形式で与えられる．帰無仮説は棄却されることに意味がある仮説である．帰無仮説と反対の仮説を対立仮説という．

上の3番目の例でみると，

帰無仮説：母集団Aと母集団Bの平均は等しい．（H0：μA＝μB）

対立仮説：母集団Aと母集団Bの平均は等しくない．（H1：μA≠μB）

母集団Aと母集団Bは異なる処理（薬の投与など）をしているので，実験の目的は，母集団Aと母集団Bの平均は異なる（処理効果がある）ことを言いたい（対立仮説が正しいことを望む）のだが，まずは「等しい（処理効果無し）」と仮定してみようという考え方となる。